

川口市立医療センター広報紙

はな みず き  
**花水木**

特集

2023.1.1 Vol. **59**

**当院の産婦人科の特色**



川口市立医療センター「みみたーず」  
イメージキャラクター  
“よく聴き・よく診て・よく説明する”

基本理念

市民に信頼され、  
安全で質の高い医療を提供します

## 産婦人科の特色

産婦人科 部長 千島史尚

### 特徴

当科は、常勤医6人体制で産科（分娩）と婦人科（子宮、卵巣等の病気の治療）の診療にあたっています。当院は、日本産科婦人科学会専門研修プログラム施設（連携施設）、日本周産期・新生児医学会母体・胎児基幹施設、地域がん診療連携拠点病院であり、埼玉県南地域の中核病院として診療しています。そのなかでも、特に県内の地域周産期母子医療センターのひとつとして、川口市及び周辺地区の周産期医療の拠点病院として機能しています。また、新型コロナウイルス感染症についても埼玉県産婦人科医会のリエゾン（他の病院との合同チーム）に参画し連携しています。

### 産科領域について

産科領域では、正常の妊娠のほか、切迫早産、妊娠高血圧症候群、前置胎盤、胎児発育不全、多胎妊娠、合併症妊娠などハイリスクな妊娠にも対応しております。外来診察時から入院、分娩時まで一貫してスタッフが対応し、安全、安心なお産（分娩）に努めています。また、当院は周産期センターとして、重篤な合併症を有する妊婦の母体搬送を24時間体制で受け入れ、新生児集中治療科（NICU）と連携し、母体・胎児・新生児の集中治療を行っています。NICUスタッフとの合同カンファレンスを毎週行い、連携を密にしています。

埼玉県全域より母体搬送を受け入れておりますが、当院の新生児治療室（NICU9床、GCU21床）が満床の場合には、受け入れ困難な場合もあります。

### 婦人科領域について

婦人科領域では、以下のような疾患に対応しています。

- ・子宮筋腫、卵巣腫瘍、子宮内膜症などの良性疾患の診断、治療（腹腔鏡手術含む）
  - ・子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんなどの悪性腫瘍の診断、治療
  - ・異所性妊娠（子宮外妊娠）、卵巣腫瘍茎捻転、卵巣出血、骨盤腹膜炎などの急性疾患の診断、治療
- 様々な症状に対応できるように診療、検査体制を整えています。異所性妊娠（子宮外妊娠）、卵巣腫瘍茎捻転な



どの急性疾患については、24時間体制で対応しております。

なお、当院では不妊治療は行っていません。

長きにわたり勤務されていた芦田敬先生が2022年9月いっばいで退職され、後任として千島史尚が10月より部長として着任しております。千島の専門領域は、婦人科腫瘍、子宮内膜症などです。これまでの診療を継続維持して参りますが、人員が整い次第、婦人科腫瘍にも力を入れて参りたいと考えております。

### おわりに

今年も当院の研修医が産婦人科で研修をしています。その中に、当院で生まれた研修医がおりました。本人と一緒に分娩台帳の記録を見てみると、その研修医の生まれた記録がしっかりと残っていました。本人も驚いていましたが、スタッフもびっくりしました。この周産期センターに勤務する者として、ここで生まれた赤ちゃんが大きくなって立派な医師となり、自ら川口市立医療センターを選んで研修に来てくれたと思うと、こんなに嬉しいことはありません。指導医として感無量です。市民の皆様とともに育ち大きく成長していかなくてはならないと改めて感じました。今後もスタッフ一丸となって、市民の皆様のためとなる医療に努めて参りたいと考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



## 糖尿病看護外来のご案内

外来通院中の糖尿病患者さんを対象に、2020年10月に糖尿病看護外来を開設しました。当院では、糖尿病看護認定看護師1名、日本糖尿病療養指導士18名が、各職種の専門性を活かし療養生活の支援をしています。

糖尿病の治療の目的は、健康な人と変わらない生活を維持し、健康寿命を延ばすことです。そのためには、食生活や運動、飲み薬やインスリン注射など、日々の生活の中での自己管理がとても大切です。しかし、糖尿病の状態や、仕事などの生活状況によって、治療がうまくいかなることもあります。そのようなときに患者さんがより良い療養生活を送ることができるよう、以下の外来を設置しています。

### 療養指導外来

糖尿病とうまく付き合いながら、充実した生活が送れるようお手伝いさせていただきます。些細なことでもお気軽にご相談いただけます。また、インスリン注射、血糖測定等の操作方法についてもアドバイスしています。

### 透析予防外来

糖尿病の合併症の一つに腎症があります。人工透析を開始した患者さんの原因疾患は、糖尿病が最も多くを占めています。そのため、管理栄養士とともに、腎症の予防のための腎臓に負担をかけない食事・生活などについてお話をしています。

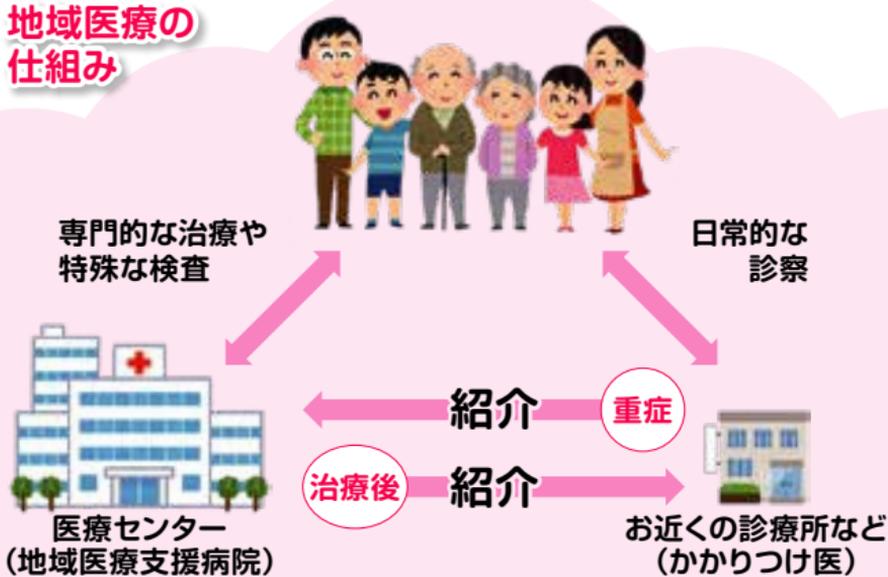
### フットケア外来

糖尿病で足を失った、という話を聞いたことがあると思います。足病変も腎症とともに「三大合併症」と呼ばれており、足の小さな傷が、時に足を切断することになる場合があります。そのため、予防方法、発見方法をお伝えするほか、爪切りや角質ケアなど足の状態に合わせたお手入れ方法について、患者さんそれぞれに合ったアドバイスをしています。

※いずれも、月・水・金曜日に実施しております。詳細はお尋ねください。



## 地域医療の 仕組み



### バス案内 (国際興業バス)

#### 川口駅東口(8番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

#### 西川口駅東口(1番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

#### 蕨駅東口(1番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

#### 赤羽駅東口(6番)発

新井宿駅経由 川口市立医療センター行

### 循環バス (川口市コミュニティバス)

#### みんななかまバス

### 埼玉高速鉄道をご利用の方は

埼玉高速鉄道 新井宿駅から徒歩10分

### 駐車場ののご案内

**駐車料金** 4時間まで200円 (その後1時間ごとに100円)

総合受付の「5」会計受付にてパーキングカードを販売しております。  
(1,000円券・3,000円券)

**駐車台数** 約600台収容



ホームページ

発行責任者 川口市立医療センター 大塚 正彦

編集 広報委員会

〒333-0833

川口市西新井宿180

☎048-287-2525 (代表)